



様式第9号(第7条関係)

令和6年3月19日

朝日町議会議長 加藤 好進 殿

会派名 自民クラブ

代表者名 水野 仁 士



令和5年度政務活動費に係る収支報告について

朝日町議会政務活動費の交付に関する条例第11条第1項(第2項)の規定により、別紙のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和5年度政務活動費収支報告書

会派名 自民クラブ

1 収入

政務活動費 960,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	支出額	備 考
調査研究費	871,233	8/3～ 8/5 視察調査 北海道 東川町、美瑛町、自衛隊東 千歳駐屯地 視察調査
研修費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
広報・広聴費		
事務費		
人件費		
その他の会派活動 費		
合計	871,233	

3 残余

88,767 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

調査研究・研修・その他活動 実績報告書

実施年月日	令和5年8月3日～8月5日	会派名	自民クラブ	
活動項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 <input type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> その他()			
活動参加者	水野仁士、西岡良則、加藤好進、石原孝之、寺西泉、由井崇、善田奈緒、吉江昌宏 計8名			
経費の項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費			
活動内容等 (視察・会議 等の概要・目的・内容・調査結果等)	<p>◎北海道東川町</p> <p>出席者 副町長 市川直樹、議長 能登暢吉、副議長 飯塚達央、経済振興課長 吉原敬晴 東川日本語学校事務局長 千田浩一郎、議会事務局長 北 雅仁</p> <p>・表題 地域づくりまちづくりについて</p> <p>・内容 観光振興 移住定住 介護人材育成</p> <p>◎北海道美瑛町</p> <p>出席者 商工観光交流課 課長補佐 成瀬弘記、事務局長 今野聖貴</p> <p>・表題 美瑛町の観光</p> <p>・内容 観光マスタープランなど</p> <p>◎自衛隊東千歳駐屯地</p> <p>・目的 陸上自衛隊唯一の機甲師団として戦車を主体とした部隊の視察</p> <p>・内容 日露戦争時代から近年の7師団の編成や装備を紹介している資料館での説明と観覧</p>			
上記活動に 要した経費	支出内容	積算の内訳(支出先等)	支払額	領収書番号
	手土産代	お菓子 3個	4,860	1-1
	昼食代	8名	9,900	1-2
	宿泊費	12,240円×8名	97,920	1-3
	駐車料金		880	1-4
	昼食代	8名	3,921	1-5
	高速料金	むかわ穂別～千歳東	1,350	1-6
	高速料金	札幌南	690	1-7
	宿泊費	13,400円×8名 駐車料金1,200円	108,400	1-8
	燃料費	レンタカー軽油	5,151	1-9
	高速料金	札幌西	1,240	1-10
	高速料金	伏古	420	1-11
	高速料金	千歳	910	1-12
	燃料費	レンタカー軽油	1,131	1-13
	レンタカー	8月3日から8月5日	69,760	1-14
航空券	8/3富山→羽田→旭川8名	315,920	1-15	
航空券	8/5新千歳→羽田→富山8名	248,780	1-15	

領収証等添付用紙

令和 5 年度 (令和 5 年 4 月～令和 6 年3月分)

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-1
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	4,860 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 3 日
支出内容	手土産代(1,620円×3個)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。



富山きとくと空港

売店 まいどは屋

富山市秋ヶ島30番地

☎076(495)3150

2023年 8月 3日(木) 6:21 No:0102

030118袋入有磯せ

単1,620× 3個 * ¥4,860

小計 ¥4,860

内税対象額 8.00% ¥4,860

内税 8.00% ¥360

合計 ¥4,860

(内消費税等 ¥360)

お預り ¥10,000

(消費税等 ¥360)

お釣り ¥7,140

*は軽減税率(8%)対象商品

登録番号: T4-2300-0100-2068

資No:00000002:資02

取引No4771 3点買

※ 備考欄には、支出金額を按分

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和 5 年度 (令和 5 年 4 月 ~ 令和 6 年 3 月分)

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-2
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	9,900 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 3 日
支出内容	昼食代 9,900円(8名)		
備考			

領収証等添付欄

領収証は重ならないように添付すること。

2023年8月3日

領収書

自民クラブ様

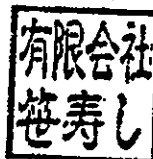
¥9,900

税抜金額	¥9,000
消費税	¥900
税率 10%	¥9,900
(内消費税)	¥900)
税率 8%	¥0
(内消費税)	¥0)

上記正に領収いたしました。
印刷面を内側に折って保管願います。

但し お品代(軽減税率対象)およびお食事代として

8名分



東川楽座 笹一
〒071-1424
北海道上川郡東川町南町
1丁目2-4
TEL:0166822747

※ 備考欄には、支出

※ 領収証添付欄には

No.00015980
POS: 001

領収証等添付用紙

令和 5 年度 (令和 5 年 4 月～令和 6 年3月分)

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-3
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研 修 費 <input type="checkbox"/> 会 議 費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事 務 費 <input type="checkbox"/> 人 件 費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	97,920 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 3 日
支出内容	宿泊費 12,240円×8名		
備 考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

発行No. 15642420
表示日:発行日: 2023年8月18日
Date of display

領収書

下記、正に領収致しました。
This is to certify that IKYU.corp has received the following.

宛名 自民クラブ 様
Received from

金額 金 97,920 円 (税込)
The sum of

但し 宿泊代金として
In payment of ※クレジットカードにて決済

予約番号 IY0936167143
Reservation Number

ご利用施設 Y's HOTEL 旭川駅前
Accommodation

宿泊日 2023/08/03 より 1泊
Staying Date

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。
This is an electronic display of receipt data.



株式会社 一休
102-0094 東京都千代田区紀尾井町1-3
東京ガーデンテラス紀尾井町
紀尾井タワー10階



発行No. 15642420
表示日:発行日: 2023年8月18日
Date of display

ご利用明細

■宿泊内容

宿泊日	施設名	人数	室数
2023/08/03	Y's HOTEL 旭川駅前	8	8

■宿泊代表者氏名

石原 孝之	様
-------	---

領収証等添付用紙

令和 5 年度 (令和 5 年 4 月～令和 6 年3月分)

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-4
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研 修 費 <input type="checkbox"/> 会 議 費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事 務 費 <input type="checkbox"/> 人 件 費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	880 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 3 日
支出内容	駐車料金 880円		
備 考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。



タイムズ24株式会社

タイムズツルハビル旭川駅前

TEL 0120-70-8924

(タイムズコンタクトセンター)

ご利用ありがとうございました。

領 収 書

精算機 #01	A 精算No.000797
発券機 #01	発券No.073112
入庫時刻	2023年 8月 3日(木) 21:23
出庫時刻	2023年 8月 4日(金) 08:50
駐車時間	11:27
駐車料金	A料金 880円
=====	
合 計	880円
現金領収額	880円
お預り	1,000円
お釣り	120円

またのご利用をお待ちしております。

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和 5 年度 (令和 5 年 4 月～令和 6 年3月分)

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-5
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	3,921 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 4 日
支出内容	昼食代(8名)		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

Seicomart

ここにあるおいしさも、おまごるに

セイコーマート日高

沙流郡日高町新町3丁目424番33号

電話 01457-6-3338

2023年08月04日(金) 13:43

扱者:989 010398-A

【 領 収 書 】

ツマミ2	¥120 ※
ツマミ1	¥120 ※
ツマミ1	¥120 ※
HC大きなおにぎり 明太73	¥198 ※
HC大きなおにぎり 明太73	¥198 ※
HC大きなおにぎり 明太73	¥198 ※
HC大きなおにぎりたらこ	¥248 ※
おコップ2	¥120 ※
ツマミ1	¥120 ※
HC大きなおにぎりたらこ	¥248 ※
HC大きなおにぎりたらこ	¥248 ※
おコップ2	¥120 ※
おコップ2	¥120 ※
キウウ1	¥120 ※
HC大きなおにぎりたらこ	¥248 ※
HC大きなおにぎり 明太73	¥198 ※
3仔¥600	
2 @ ¥98	¥196 ※
おコップ¥600	
4 @ ¥98	¥392 ※
胡麻麦茶	¥160 ※
きりっと果実おコップ&ツマミ	¥139 ※

※ 備考欄には、支出金額を
※ 領収証添付欄には、領収証

税率8%対象 ¥3,631
消費税 ¥290

ること。
ること。

お買上げ個数 24
合 計 ¥3,921
現金お預かり ¥5,000
お釣り ¥1,079

※... 本休価格の小計

領収証等添付用紙

令和 5 年度（令和 5 年 4 月～令和 6 年3月分）

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-6
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研 修 費 <input type="checkbox"/> 会 議 費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事 務 費 <input type="checkbox"/> 人 件 費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	1,350 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 4 日
支出内容	高速料金 むかわ穂別→千歳東		
備 考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 千歳東

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

23年 8月 4日 14時55分

車種 普通

通行料金 ￥1,350-
(現金)

—入口料金所— むかわ穂別
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
取扱番号201-01461420-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和 5 年度 (令和 5 年 4 月～令和 6 年3月分)

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-7
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	690 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 4 日
支出内容	高速料金 札幌南		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 札幌南本線

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

23年 8月 4日 21時25分

車種 普通

通行料金 ¥690-

(内訳)

現金 ¥420-

現金 ¥270-

—入口料金所— 北広島

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

取扱番号207-04052120-0000

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和 5 年度 (令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月分)

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-8
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研 修 費 <input type="checkbox"/> 会 議 費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事 務 費 <input type="checkbox"/> 人 件 費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	108,400 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 5 日
支出内容	宿泊費 20,800円 入湯税 150円 各8名 駐車料金 1,200円 (内、宿泊費上限額 13,400円支出)		
備 考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

No 202308050003

領 収 書
(RECEIPT)

お名前 NAME 自民クラブ 様

発行日 ISSUED 2023/08/05



領収金額 BALANCE DUE 168,800

(税込金額には消費税が含まれております)

¥15,229 (軽減税率対象額) Y0
¥167,600 (標準税率対象額) Y0

ドーミーインPREMIUM小樽 8.05

〒047-0032 北海道小樽市福穂3-9-2

TEL 0134-21-5489 FAX 0134-33-0103

http://www.hotelspa.net/dormyinn/

請求明細書
(STATEMENT)

お名前 NAME 自民クラブ 様

部屋番号 ROOM NO	到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	発行日 ISSUED	宿泊人数 PERSON
518	23/08/04	23/08/05	2023/08/05	1

日付 DATE	品名・内容 DESCRIPTION	金額 AMOUNT	お支払 BALANCE
08/04	チェックイン精算(現金)		168,800
08/04	宿泊費	20,800	
08/04	駐車場	1,200	
08/04	入湯税	150	
08/04	宿泊費(519)	20,800	
08/04	入湯税(519)	150	
08/04	宿泊費(520)	20,800	
08/04	入湯税(520)	150	
08/04	宿泊費(521)	20,800	
08/04	入湯税(521)	150	
08/04	宿泊費(522)	20,800	
08/04	入湯税(522)	150	
08/04	宿泊費(523)	20,800	
08/04	入湯税(523)	150	
08/04	宿泊費(524)	20,800	
08/04	入湯税(524)	150	
08/04	宿泊費(525)	20,800	
08/04	入湯税(525)	150	
利用金額 TOTAL AMOUNT		168,800	168,800
支払金額 BALANCE DUE			0

No. 202308050003 - 122 - 214

ご署名

会社名

※ 備考
※ 領収

領収証等添付用紙

令和 5 年度 (令和 5 年 4 月～令和 6 年3月分)

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-9
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	5,151 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 5 日
支出内容	レンタカー燃料代		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ENEOS

納品書(領収書)

2023年08月05日 09:53

売上

上 様 M

6-100224-49991-001

現金フリー

車両番号 実車番

0216-00

軽油 P-07

31.80L * ￥5,151

(内軽油本体 129.90円 ￥4,131)

(内軽油税 32.10円 ￥1,020)

合計 ￥5,151

(消費税10%対象 ￥4,131)

内消費税等 ￥376)

株式会社 榊石 小樽運河通SS

北海道 小樽市港町6番4号

TEL:0134-25-2264 SS-100224

WebNo 4504-01 〒5No2716-2718

2023/08/05

※ 備考欄には、支出金額を按分

と。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和 5 年度 (令和 5 年 4 月～令和 6 年3月分)

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-10
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	1,240 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 5 日
支出内容	高速料金 札幌西		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 札幌西本線

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

23年 8月 5日 10時23分

車種 普通

通行料金 ¥1,240-

(現金)

※通行料金の消費税率は10%です

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

登録番号: T9010001095716

取扱番号2858-080000

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和 5 年度 (令和 5 年 4 月～令和 6 年3月分)

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-11
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研 修 費 <input type="checkbox"/> 会 議 費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事 務 費 <input type="checkbox"/> 人 件 費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	420 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 5 日
支出内容	高速料金 伏古		
備 考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 証

料金所 伏古

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

23年 8月 5日13時32分

車種 普通

通行料金 ¥420-

※通行料金の消費税率は10%です

(現金)

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

登録番号:T9010001095716

取扱番号2784-02-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和 5 年度 (令和 5 年 4 月～令和 6 年3月分)

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-12
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研 修 費 <input type="checkbox"/> 会 議 費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事 務 費 <input type="checkbox"/> 人 件 費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	910 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 5 日
支出内容	高速料金 千歳		
備 考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 千歳

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

23年 8月 5日 14時00分

車種 普通

通行料金 ¥910-

※通行料金の消費税率は10%です

(現金)

—入口料金所— 札幌南
京日本高速道路株式会社
東京都千代田区蔵が岡3-3-2
登録番号:T9010001095716
取扱番号205-05091340-00

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和 5 年度 (令和 5 年 4 月～令和 6 年3月分)

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-13
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研 修 費 <input type="checkbox"/> 会 議 費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事 務 費 <input type="checkbox"/> 人 件 費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	1,131 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 5 日
支出内容	燃料費		
備 考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

ENEOS

納品書(領収書)

2023年08月05日 14:13

売上 上 様 M

6-100568-49991-001

現金フリー

車両番号 実車番

0216-00

軽油 P-04

7.03L * ￥1,131

(内軽油本体 128.90円 ￥906)

(内軽油税 32.10円 ￥225)

合計 ￥1,131

(消費税10%対象 ￥906)

内消費税等 ￥82)

現金でお買上げの場合は領収書にかえさせていただきます。

千歳空港モーターサービス(株)

エアカーゴSS

北海道 千歳市美々

TEL:0123-45-2345 SS-100568

レシートNo. 3095-01 データNo8939-8941

2023/08/05

※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。

※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和 5 年度 (令和 5 年 4 月～令和 6 年3月分)

会派名: 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-14
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	69,760 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 5 日
支出内容	レンタカー代金 8月3日から8月5日		
備考			

領収証等添付欄

※領収証は重ならないように添付すること。

クレジット売上票

加盟店名 **バリエーションカー アビカレンタカー**
 MERCHANT 0166-74-6257
 端末番号 TERM No 71111-620-41724
 ご利用日 DATE 2023/08/03 13:44:43
 会員番号 354101*****1075 IC

ACCT #
 カド会社 CARD COMPANY JCB GROUP
 承認番号 APP CODE 0080287
 処理通番 TRAN No 0549035

取引内容	伝票番号	有効期限
売上	03674	XX/XX
支払区分	取扱区分	商品区分
一括	110	240

金額 ¥69,760

AMOUNT
 ISHIHARA/TAKAYUKI 様
 ご利用ありがとうございました
 またのご来店をお待ちしております
 ARC 00 ATC 00068 No.00
 AID A0000000651010
 JCB
 APP LABEL JCB Credit
 売場 SALES 係員 CLERK

GMO-F G お客様控え

- ※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。
- ※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

領収証等添付用紙

令和 5 年度（令和 5 年 4 月～令和 6 年3月分）

会派名： 自民クラブ

会派名	自民クラブ	整理番号	1-15
支出項目	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> その他の会派活動費		
支出金額	564,700 円	支出年月日	令和 5 年 8 月 7 日
支出内容	航空券 8月3日 富山→羽田→旭川 8名 8月5日 新千歳→羽田→富山 8名		
備考			
領収証等添付欄	※領収証は重ならないように添付すること。		

- ※ 備考欄には、支出金額を按分率で算出した場合等の根拠を記入すること。
- ※ 領収証添付欄には、領収証及び金額の内容を証する書類を添付すること。

〒

新富観光サービス株式会社



自民クラブ 様

本社 〒939-8195 富山市上野322 Tel. (076) 428-5544
ハスセンター 〒939-8195 富山市上野322 Tel. (076) 429-8448
高岡店 〒933-0816 高岡市二塚401-1 Tel. (0766) 92-2233
魚津店 〒937-0046 魚津市上村木1-1-10 Tel. (0765) 24-7110
オセルビル2階

Table with 2 columns: 受注番号 (6029947), 担当 (blacked out)

毎度ありがとうございます。
下記の通りご請求申し上げます。

Table with 3 columns: 旅行実施日 (2023/08/03, 2023/08/05), ご利用額 (564,700), ご入金額

Table with 2 columns: 今回ご請求額 (564,700)

Main table with 4 columns: 商品名・摘要, 数量, 単価, 金額. Rows include flight tickets for various routes.

Summary row: ご利用合計額 (564,700)

領収証

令和5年8月7日

No. 084761

自民クラブ 殿

Table for amount: 金額 ¥564,700



但し

上記金額正に受領致しました

新富観光サービス株式会社
〒939-8195 (076) 428-5544 〒937-0046 (0765) 24-7110
〒933-0816 (0766) 92-2233

Table for payment: 現金 ¥564,700, 受注No. 6029947

社印及び取扱者印なきもの又は金額訂正は無効です

3×50×300

取引銀行

富山信用金庫入会支店 (三) 002580
三井住友銀行 富山支店 (普) 0458570

口座名 新富観光サービス株式会社

※

令和5年朝日町議会

自民クラブ行政視察研修報告

水野仁士

水野仁士自民クラブは8月3日(木)～5日(土)に渡り、視察研修へ行ってきました。

日 程 8月3日(木) 5:30 役場出発→14:50 東川町役場着

15:00～17:00 東川町議会研修会

8月4日(金) 9:30～11:00 美瑛町議会研修会

15:00～17:00 自衛隊東千歳駐屯地研修視察

8月5日(土) 9:00～11:00 小樽市内観光及び視察

13:00 千歳空港へ

19:35 羽田空港発

21:30 朝日町役場着

1日目

8月3日(木) 15:00～

○ 東川町の地域づくりと町づくりについて

○観光振興 ○移住定住 ○介護人材育成

東川町は北海道のほぼ中央に位置し、山岳地帯で大規模な森林地帯を形成し日本最大の自然公園『大雪山国立公園』の区域の一部となっており豊富な森林資源と優れた自然景観高く評価されている。人口は平成5年の7,063人から令和4年には8,601人となりこの30年間で約2割の緩やかな人口増が見られるが、これはすぐ隣の旭川市のベッドタウンであることや介護と日本人学校の存在が人口増にもなっている。外国人は平成24年の50人が令和4年に517人となっている。

又、30数年前から『写真の町宣言』により町民が参加し後世に残し得る町づくりをスタートさせ、毎年、国内外から写真作家や関係者を招いたり、全国高等学校写真選手権大会『写真甲子園』を開催している。

2日目

8月4日(金) 9:30～

美瑛町の観光について

○ 北海道のほぼ中央部、旭川市と富良野市の中間に位置し、人口は役9,600人、寒暖差が大きい内陸性気候の為四季の彩りと移ろいを感じる事が出来、雄大な大雪山国立公園の一部となっていて多くの観光客を惹きつけている。平成17年に設立した「日本で一番美しい村」の連合の理念に基づいた保全も行い、ラベンダーの富良野市との相乗効果もあってか年間観光入込数は200万人以上である。しかし、宿泊者数は伸び悩み、通過型の観光となっているのが問題であり課題である。

○ 15:00～

自衛隊東千歳駐屯地研修視察

東千歳駐屯地は第7師団司令部が駐屯している。

戦車の模型の展示室もあり、戦車の歴史や終戦後のロシア軍による千島列島の乗っ取り等の話も聞く。

所感

北海道の東川町は1昨年に続き2度目であるが、その間、町長も替わ

り、新町長を表敬訪問する事にもなった。この度の訪問で朝日町とのつながりを一層深めることが出来たように思う。

東川町は観光を始め他方面でも全国的展開がすごい。

それと明治の屯田兵政策により富山県人が多く移り住みついた事で『富山神社』という名称の大きい神社もあり、入善町舟見の『樽井姓』や黒部市の『能登姓』もおられる町でもある。

美瑛町は朝日町より人口が少ないが観光入込数は200万人と桁違いであり、朝日町も観光面、企業誘致等と人口増に向けて真剣に頑張らねばと！

又、北海道は国境線上にあり北の要であり、ウクライナの事もあってかロシアが攻めてくるのではという思いにかられたのは私だけではないのでは。

朝日町議会自民クラブ
西岡良則

朝日町議会自民クラブ8名は、令和5年度政務活動費を活用させていただき8月3日から5日までの3日間にわたり北海道東川町、東川町、美瑛町、東千歳駐屯地において行政視察研修を行ってまいりましたので報告いたします。

【8月3日北海道東川町 PM3:00～】

視察内容 東川町表敬訪問と地域づくりまちづくりについて

北海道のほぼ中央に位置し、日本最大の自然公園「大雪山国立公園」の一部と大雪山連邦の最高峰旭日岳2,291mを有すし、水が豊かにあふれる東川町を表敬訪問をし、庁舎において行政から市川直樹副町長、吉原敬晴経済振興課長、千田浩一朗日本語学校事務局長、議会からは能登暢吉議長、飯塚達央副議長、北議会事務局長の出席をいただき懇談と研修をさせていただきました。

研修では、大雪山の恵みを大切に、町民が毎日、天然水で暮らす町の概要について説明を受け、写真文化首都「写真の町」、「適疎」なまちづくりなどの詳細について意見交換をさせていただきました。

(1) 日本語学校留学生研修と外国人介護福祉人材育成支援について

アジアを中心に世界中から留学生を積極的に受け入れ、語学だけではなく文化体験や地域の体験学習灘も実施し、地域の人々や日本の文化に触れる機会を作っている。また、町内には民間専門学校が日本語学科を開設しており、町と専門学校、近隣の市町村が連携をし、外国人介護福祉の人材を養成する取り組みが行われており、介護人材不足の解消に大きな成果を収めている。定員は100名であるがそのうち5名が介護の学生とのことであった。

また、外国青年招致事業では、国内初となる公立日本語学校の開設や高校生国際交流写真フェスティバルの開催など、多様でユニークな国際交流の取り組みが行われているとともに、住民との交流や教育、福祉など国際交流以外の様々な取り組みにより、「ヒト、モノ、コト」の相互連鎖から広がるまちづくりが行われている。成果としては交流人口・関係人口の増加、町の知名度のアップ、地域内の消費の拡大、人材の育成・供給による地域課題の解決などがある。

(2) 移住定住対策について

東川町の文化や地域の人々に触れ「東川暮らしを体験しませんか」をスローガンに移住相談ツアー、移住体験を行っている。移住相談ツアーの対象者は東川町外在住者であることや東川町に移住を検討している人で、ツアーの参

加に当たっては「東川町PRのお手伝い」への協力が条件となっている。助成としては、交通費、宿泊費、ツアー実施に要する経費(上限20万円まで)滞在中一人一日につき1,000円分の町内で使用できるHUCカードポイントが配布される。また、移住体験についての対象者は、連続して3か月以上参加することとなっており、助成としては移住体験中に滞在する「東川暮らし体験館」を月額20,000円で入居が可能である。

一方、移住対策、空き家対策として空き家バンクを開設しているが、空き家がすくなく移住対策に十分対応できない状況にあるとのことであった。また、定住人口については、平成5年には7,063人であった人口は、緩やかに回復へと推移し平成27年に8,000人を回復、令和5年には8,589人と増加している。全国的に人口減少が課題となっている中で大変驚いた。人口増加の確かな要因は不明であるが、町の移住定住対策や日本語留学生事業などの各種施策の効果が出ているのではないかとこのことであり、朝日町においても新たな施策を模索する必要があると思われる。

(3) 観光振興と「写真の町」における関係人口の拡大について

東川町の雄大な自然環境と、風光明媚な景観を未来永劫に保ち、美しい風土と、豊かな心をはぐくみ、世界の人々に開かれた町、心のこもった「写真映りのよい」町の創造を目指し、写真の町宣言が2014年3月になされた。

事業としては、国際写真フェスティバル、写真甲子園、高校生国際交流写真フェスティバルなどが開催されるとともに、写真文化発信における中心的な役割を担うため、2021年に東川町文化ギャラリーがリニューアルオープンし、地域文化活動の拠点施設となっている。

また、東川町のふるさと納税である「写真の町」ひがしかわ株主制度とは、東川町への寄付で「ひがしかわ株主」となり、共に町の未来をはぐくんでいく趣旨で創設されたもので、応援する投資事業には、「写真の町」整備事業、オーナーズハウス建設事業、オリンピック選手育成事業、写真甲子園映画制作支援事業、写真文化首都創生館整備事業、水と環境を守る事業、医療型観光施設整備事業、織田コレクションアーカイブス事業があり、株主には東川町の様々な施設などを優待利用ができる。

また、天然の美味しい地下水で育んだ新米や新鮮な野菜を届ける株主ファーム、フレッシュな東川産のぶどうで誕生した「ひがしかわワイン」の限定販売や植樹など、東川町のまちづくりに参加ができる株主限定の企画がなされている。

東川町では未来に向けて大雪山文化を発信する映画「カムイのうた」の製作や町の資源を最大限に活用した温泉施設キトウシ保養施設「キترون」の建設、世界に向けてデザインを発信するデザインミュージアム構想が進められるなど、いろいろな政策が着実に進められており、町の今後のさらなる発展が楽しみである。

視察内容 美瑛町の観光振興について

美瑛町は北海道のほぼ中央部、旭川市と富良野市のほぼ中間に位置し、面積は67,678ha、人口は約9,600人の町で十勝岳の麓の雄大な自然に囲まれた大雪山国立公園の一部となっている。また、丘陵地帯は農業によって創り出される広大な自然景観が多くの観光客や写真愛好家を惹き付けている。

研修には、美瑛町商工観光交流課成瀬弘記課長、今野聖貴議会事務局長の同席により説明を受ける。

(1) 主要産業

省産業は冷涼な気候と昼夜の寒暖差を生かした農業であり、水稻、アスパラガス、トマト、ジャガイモ小麦豆類が生産されており、素材の良さを活かした農産加工品やお菓子などを特産としており、農業を軸とした産業構造となっている。

(2) 美瑛町の観光

- ① 白金温泉から十勝岳連峰と大雪山国立公園の雄大な自然環境
- ② 丘陵地帯と四季折々の自然景観
- ③ 新型コロナウイルス感染症の5類移行により増加の見込み

(3) 農業景観と観光資源

- ① 農業と景観
スマート農業の推進により、適正な輪作体系が維持され結果的に美しい農業景観も維持されている
- ② 風景写真
丘と山々が織りなす四季折々の彩豊かな自然景観と人間と自然が共作した風景を撮影した作品は、多くの人を魅了している

(4) 農業・観光の課題

- ① 農業の課題
耕作地の4割が傾斜地等の条件的に不利ではあるが「丘の町美瑛」と呼ばれる農業景観が生み出されている。平坦な農地に比べ負担が大きく、農作業の省力化や担い手の確保が課題である
- ② 観光の課題
通過型の観光であるとともに、農業・自然景観が観光資源となっているため、農地への無断侵入など農業面への負荷が大きい。また、入込が夏期に集中することから、観光需要の平準化が課題である

(5) 観光振興の方針

no4

① 美瑛町観光マスタープランの策定

「丘のまちびえい」の持続的発展を目指し、地域ブランドを確立させ、農林業、商工業、観光業の融合によって町の活性化を図ることを目的として、平成30年3月に策定

② 観光マナー向上と景観保全対策

③ 美瑛町持続可能な観光目的地実現条例の制定

(6) 美瑛町観光マスタープランの方針

① 地域資源の多様性拡大と持続可能性の確保

② 入込客数の抑制と観光の質の向上

③ 暮らしと観光の融合

④ 美瑛型DMOのかくりつ

【8月4日自衛隊東千歳駐屯地 PM3:00～】

視察内容 第7師団の任務と史料館について

北海道の空の玄関として発展した千歳市に所在する東千歳駐屯地は、外周約13km、面積590万㎡、陸上自衛隊最大の駐屯地で日本で唯一の機甲師団でもある。また史料館は師団が管理をし、戦車に特化した展示となっている。

(1) 戦車博物館

日本唯一の機甲師団ということで、戦車に特化した展示となっている。当初の戦車は、対戦車戦闘ではなく、歩兵支援という形で運用されていたが、軽・中・重だけでなく駆逐・巡航・砲戦車など様々になってきているとのことである。

また、第二次大戦後の世界の戦車も年代別に展示されている。

(2) ジオラマコーナー

日本の三大戦車戦として「大陸の大草原ノモンハン」、「絶対国防圏マリアナ諸島サイパン島」、終戦後の日本本土防衛「占守島の戦い」のコーナーでは激動の時代に身を賭して戦った先人たちの思いの一端を感じることができた。

(3) 陸上自衛隊第7師団

第7師団は札幌真駒内駐屯地で「第七混成団」として誕生。その後、東千歳駐屯地に移駐、2度の改編を行い現在日本唯一の機甲師団として国防に従事している。

戦車部隊を基幹とし、全国に速やかに戦略機動展開できる師団である。

自民クラブ 行政視察研修報告書 朝日町議会議員 加藤 好進

1. 行政視察日程 2023年 8月3日(木)～5日(土)

1) 視察先及び視察事項

①8月3日(木) 北海道東川町 東川町役場

○地域づくりまちづくりについて

- ・観光振興について
- ・移住定住について
- ・介護人材育成について

②8月4日(金) 北海道美瑛町 美瑛町役場

○観光について

③8月4日(金) 北海道東千歳駐屯地

○施設見学及び第七師団の任務について

2. 行政視察

■ 北海道 上川郡 東川町

○地域づくりまちづくりについて

- ・観光振興・移住定住について
- ・介護人材育成について

視察対応者：東川町

市川 直樹

副町長

能登 暢吉

町議会議員

飯塚 達央

町議会副議長

吉原 敬晴

経済振興課 課長

千田 浩一朗

東川町立東川日本語学校事務局長

北 雅仁

町議会事務局長

- ・観光振興・移住定住について (説明者 吉原 敬晴 経済振興課 課長)

調査内容

観光振興・移住定住施策により、定住人口、交流人口、関係人口を増やす取り組みとして、位置づけている制度を視察することで、朝日町も取り組んでいる人口増加に向けたまちづくりの調査研究をする。

概要

北海道のほぼ中央に位置し、旭川空港までは約7kmのアクセスの立地的に恵まれたまちであり、ベッドタウンとしても好条件の立地と、日本最大の自然公園「大雪山国立公園」の区域の一部となっており、雪解け水が長い年月を経て地下水となって麓の町まで運ばれてきており豊かな水資源があり、北海道でも唯一上水道の無い町である。更に国道や鉄道の3道がない全国的に珍しい町でもある。また、東川町は1985年に「写真の町」を宣言して以来、自然と文化と人が出会う写真映りのよいまちづくりを積極的に進めてきている。「写真の町」として代表的な事業としては、東川

国際写真フェスティバル、写真甲子園、高校生国際交流写真フェスティバルなどに加えて、旭岳を中心とした温泉街と、近年は、移住人口などの増加により豊かな水資源を活用した飲食店やカフェが集まり、東川町を訪れる人たちの楽しみにもなっている。(リピータ増加)

一方、定住人口の推移をみると、1993年7,063人から2015年8,105人と40年ぶりに回復し2023年1月現在では、8,589人のうち外国人513人、また、30年間の転入者数平均は481人、転出者数平均403人で移住者が50%を超えているという。

その支援策として、景観住宅・起業化・アパート支援。移住施策については、「美しい東川の風景を守り育てる条例」(景観条例)を平成14年に制定し、行政、住民、事業者等が連携した風景づくりを推進するとともに、定住企画やリアルイベントも多数開催している。また、町民にたいして様々な支援・補助を実施している。

・景観住宅建築支援事業

東川風住宅設計指針の基準を満たす住宅を新築する場合

内容：カーポート及び物置等の付属建築物建設費に対して補助

概要：①町内業者施工 ②事業費の1/2以内 ③上限50万円の補助

・起業化支援事業

企業が新たに投資し、町内にて指定事業場に掲げる業を開始する場合

概要：土地、家屋、設備等の固定資産の取得及び改修等に要した費用の1/3以内を補助

1事業者1,000千円上限(100千円以内は対象外)

・蒔ストープ等設置補助金

事業費の1/2以内で上限50万円の補助、新築の場合は購入費の1/2以内で10万円補助

・二世帯居住推進事業補助金

事業費の1/2以内で上限50万円の補助(二世帯住宅の場合を新築する100㎡以上上限100万円)

など、使いやすい補助金で起業家が増えている。(家具職人、飲食店・カフェ、海外品販売など)

定住人口プラス交流人口により、ゆるやかに人口が増加しており東川町が目指す適疎なまちづくりに取り組んでいる。

所 感

観光振興・移住定住施策は、定住人口、交流人口、関係人口を増やすことに力点が置かれた取り組みである。観光振興については、1985年から始まった写真文化首都「写真の町」は35年以上続く文化でのまちづくり出発点で、「自然」や「文化」そして「人と人との出会い」を大切に「写真映りの良い町づくり、良い人づくり、良い物づくり」を積極的に推進するとともに、北海道の最高峰大雪山旭岳を中心とした温泉街(10施設)と町内にあるアウトブランド「モンベル大雪ひがしかわ店」もありアクティビティの魅力発信や連携したイベントの開催。旭川の家具職人を育てる取組。町内飲食店の積極的な支援など、移住施策(住宅支援・起業化支援)などで、定住人口が着実に伸びている。職員のみなさんも真剣に事業展開に取り組む姿勢が伺え、やる気のある職場の醸成が出来ていると感じられた。

・介護人材育成について (説明者 千田 浩一郎 東川日本語学校 事務局長)

調査内容

日本の全産業における労働人材不足の見込で、団塊の世代が75歳を迎える2025年時点で介護

職員33万人が不足するとされ人材の確保が喫緊の課題となっている。

国は具体的な国策を示さない中、一自治体を中心となり将来の介護職員不足に対応するため、外国人介護福祉人材の受け入れに環境整備がされている。新川圏域や富山県において介護職員確保に向けた調査研究をする。

概要

2015年創立した東川町立東川日本語学校は、国内初の公立日本語学校であり、アジアを中心に世界中留学生を積極的に受け入れている。語学だけではなく、文化体験や地域の体験学習なども実施し、地域の人々や日本の文化に触れる機会を多く生み出している。

また、町内には民間の専門学校が日本語学科を設置しているほか、町と専門学校、近隣市町村が連携し、外国人介護福祉人材を養成する取り組みも進められている。

◆「北工学園旭川福祉専門学校」 2014年1月～
日本語学科（1年半、2年）200名程度 ※介護福祉学科併設

◆「東川町立東川日本語学校」2015年10月～
日本語学科（1年） 100名程度

◆主な在籍者
中国、韓国、台湾、ベトナム、タイ、インドネシア、ウズベキスタン ほか

◆海外事務所
上記の国々に留学生募集窓口を設置。（東川町、協力事務所、その他）

◆外国人介護福祉士養成に係る費用（例）

単位：千円

学校名	コース	授業料	教材費等	寮費	雑費	必要経費計
日本語学校	1年	800	60	828		1,688
旭川福祉専門学校 日本語学科	1年半	1,200	20	1,242		2,462
	2年	1,400	40	1,656		3,096
旭川福祉専門学校 介護福祉科	2年	2,020	404	1,656	720	4,800
〃 留学生	2年	2,220	404	1,656	720	5,000 受入れ 自治体担

◆学校法人北工学園旭川福祉専門学校の状況

- ・日本語学科（2年コース）定員200名
- ・介護福祉科（外国人留学生⇒3か国22名終了）80名余/年入学
現在54名の内30名が留学生
- ・卒業後の進路：国内・道内就職 93%、海外就職7%
主な就職先：特養、病院、グループホーム、高齢者コミュニティ等卒業生全員介護関連施設に就職

◆国の留学生支援事業等活用した「外国人介護人材育成支援事業」

・2018年12月設立

正会員：2023年現在：26市町村55法人

参加条件：市町村と社会福祉施設が共同して事業に参加し育成する

外国人介護福祉士を5年間採用（以後本人希望により継続可能）

参加負担：1自治体年間30万円（負担金として）※希望自治体の奨学生養成期間中の負担学生1人につき250万円（奨学金/年）

（内訳：授業料、教材費、実習費、寮費、生活費）

賛助会員：道内自治体及び社会福祉施設→1団体5千円（負担金/年）※情報提供費用分相当

住民の理解を得ながら留学生が日本語能力を伸ばし、日本の大学進学、日本企業の就職、介護福祉士を資格取得など、地域に溶け込み、定着してもらえるよう工夫を積み重ねている。

所 感

もとは専門福祉学校の学生減少の懸念から始めた国内初の公立「東川町立東川日本語学校」少子化が進む中で学生を奪い合っても都会の学校には勝ち目がないことから、設置運営し世界中から留学生を受け入れるとともに「北工学園旭川福祉専門学校」と連携した外国人介護福祉人材の養成の取組は他自治体では類のない取り組みである。

介護現場における人材不足は年々深刻化しており、これを補う外国人労働者の育成と受け入れ環境整備の充実に加え、留学・就職を希望する外国人のための奨学金制度を設け、奨学生の経済的負担を減らすことで優れた人材育成をしている。

介護職員の人材確保や処遇改善は国の施策ではあるが、新川圏域・富山県においても外国人の介護福祉人材の育成や受け入れを真剣に研究する必要がある。

第2日 北海道美瑛町 美瑛町役場

○観光について

視察対応者：美瑛町

成瀬 弘記

商工観光交流課課長補佐兼観光振興係長

今野 聖貴

町議会事務局長

・観光について（説明者 成瀬 弘記 商工観光交流課課長補佐兼観光振興係長）

調査内容

美瑛町は、ヨーロッパの農村風景を思わせる丘陵地帯が広がる、緑豊かな自然環境が魅力ある町で「日本で最も美しい村」とも言われ、国内外からの若者からお年寄りまで楽しめることで知られている。農業と景観、受け入れやマナーなど、観光・産業振興に結び付いているか調査研究をする。

概 要

美瑛町は、北海道のほぼ中央に位置し、上川盆地の南端、旭川市と結ぶJR 富良野線の中央に位置している。周囲は東に上川町、東南の十勝岳を隔て新得町、西南には上富良野町、西に中富良野町及び芦別市、西北から北に旭川市、北東から東は東神楽町と東川町の2市6町に隣接している。

地形は概ね波状丘陵地で、畑の大部分はこの地帯にあり、丘陵の間をぬって美瑛川、置杵牛川、辺別川、ルベシベ川、宇莫別川の流域が平坦部で水田として利用されている。

町の総面積の70%以上は山林で占められ、東南部には十勝連山がたつらなり、広大な丘陵を背景とした丘のまちである。

所 感

十勝岳を始めとした標高2000m級の山々が連なる大雪山国立公園内に位置しており、令和4年1月には、ジオパーク認定を受けている。火山活動により形成された雄大で美しい景観や地質、動植物、温泉資源に恵まれている。

基幹産業である「農業の町」として観光産業も1990年度80万人/年だった観光客数は、2022年度には181万人/年に達し、町の発展に大きく貢献している。

しかし、観光産業が大きく成長する一方で課題もおおくある。

- ・観光客の増加や旅行行動の変化により、特に近年は、農地景観を目的とした観光客の来町が増えて、私有地への立ち入りや違法路上駐車で、交通渋滞等の問題が深刻化
- ・通過型観光
- ・夏期に入込み客が集中する
- ・オーバ・ツーリズムの対応
- ・観光目的税の検討（北海道内）

など、住民のくらしと観光の融合による魅力あるまちづくりを進めるために「観光マスタープラン」を策定。

1. 地域資源の多様性と持続性の担保
2. 観光の成長マネジメントと質の向上
3. くらしと観光の融合によるまちづくり
4. 美瑛版DMOの確立

上記4つの基本方針のもとに9つの戦略を策定し更に22の具体事業を盛り込んでいる。

「観光のあり方を美瑛から変えていく」持続的発展を目指し、地域ブランドを確立させ、農林業・商工業・観光業の融合によって町の活性化を図ることとしている。

当町の舟川春の四重奏、朝日ヒスイ海岸を始め、海・川・山の豊かな自然を活用した着地型観光、産業観光など、地域に費用対効果のある観光戦略を研究する必要がある。

北海道東千歳駐屯地

○施設見学及び第七師団の任務について

視察対応者：花田氏

概 要

総面積590万㎡で陸上自衛隊最大の敷地面積を誇り、駐屯地内の人員は約5,000人が居住し敷地内に、一般人は5月に開催される基地祭くらいしか入ることができなく、最新の10式戦車や自走砲、装甲車等を間地かに見ることができる。また、駐屯地に隣接する北海道大演習場や小規模な駒里演習場がある。陸上自衛隊第7師団は、北部方面隊に所属し、陸上自衛隊唯一の機甲師団としてあらゆる事態に即応するために日夜厳しい訓練に励んでいる。

所 感

入場して敷地の広さに驚いた。道路や信号の整備されており民間のバスも敷地内を走行できることとなっておりまさしく小さな町である。

まず、この史料館は昭和40年に設立され、2013年12月リニューアルオープンした。

今回「重戦力」「迫力」を有する我が国が唯一の機甲師団をアピールすることをコンセプトにした「戦

車博物館」であり、戦車の必要性和その歴史を認識できるよう工夫されており、大型スクリーンによる広報ビデオの拝聴や、タッチディスプレイ方式を使った映像による師団長の疑似体験、戦車隊の歴史では、占守島（ノモハン、サイパン）における日本軍の戦車隊戦闘がジオラマにより再現されており、見学者や戦争を知らない若者世代にもより興味深く戦場の実相が認識できるよう配慮されている。また、最近、話題となっているガールズ&パンツァーについてもコーナーが設けられており、「戦車道」を究めたい老弱男女にも楽しめることもできる。

任務としては、決戦戦力として、また戦略予備として機動展開して、侵攻した敵部隊を撃破するとともに、大規模災害へ対応することを任務としている。

自衛隊の三大任務は、①我が国の防衛 ②災害派遣 ③国際平和協力活動であり、国民の強い信頼がえられる機能の発揮を期待をしたい。

北海道行政視察研修報告書

朝日町議会自民クラブ 石原孝之

1. 行政視察行程 令和5年8月3日(木)～3月5日(土) 3日間
2. 視察先/視察目的
 - ・1日目 8月3日(午後) 東川町議会
 - ・移住定住、介護人材育成、観光振興について
 - ・2日目 8月4日(午前) 美瑛町議会
 - ・景観を利用した観光振興について
 - (午後) 自衛隊東千歳駐屯地
 - ・組織、教育、日本の防衛について

3. 視察内容

1日目 東川町議会

移住定住、介護人材育成、観光振興について

①移住定住

30年にわたって緩やかに人口が増え続けるまち

	人口	出生数	転入者数	転出者数	外国人登録者数
平成10年	7,408	43	514	414	
平成20年	7,818	51	415	309	
平成30年	8,382	47	644	530	380
令和 4年	8,601	32	339	276	517
令和 5年	8,588				513

【移住施策】

- ①景観住宅建築支援事業として、カーポート及び物置等の付属建築物建設費に対して事業費の2分の1 上限50万円の補助
- ②起業化し年事業として、土地、家屋、設備等の固定資産の取得及び改修等に要した費用の3分の1を補助 1事業者100万円上限
- ③二世帯居住推進事業補助として、事業費の2分の1以内で上限50万円の補助
- ④薪ストーブ等設置補助として、事業費の2分の1以内で上限50万円の補助
新築の場合は購入費の2分の1以内で上限10万円の補助

【介護人材育成】

団塊の世代が75歳を迎える2025年時点介護職員が33万人の不足との事により外国人の介護福祉士要請施設での環境整備が急務とし「在留資格介護」を創設

①学校法人北工学園旭川福祉専門学校

2013年10月 日本語学科開設(1年6カ月コース、2年コース 定員200名)

介護福祉科(外国人留学生 3か国22名終了)

卒業後の進路は国内・道内93% 海外7%

主な就職先 特別養老老人ホーム、病院、グループホーム、高齢者コミュニティ

卒業生全員介護関連施設に就職

②東川町立東川日本語学校

2015年10月開校(6か月コース 定員40名、1年コース 定員60名 合計100名)

現在1年コース100名の定員に対し100名の留学生が在籍

③海外事務所の設置

台湾、タイ、中国、韓国、ベトナム、インドネシアに留学生募集窓口を設置

④学生寮の充実完備

東川町国際交流館 108室182名収容

国際交流館 142室164名収容

東川暮らし館 57室 90名収容

・給付型奨学金制度の実施

授業料、教材費、実習費、寮費の全額及び生活費

3万円分→現金2万円、FUCポイント1万円+別枠でFCUポイント8千円

※条件として、卒業後5年間協議会の指定する施設で就職する事として交付

【観光振興】

北海道の東川町は、自然の美しさやアウトドア活動の豊富さで知られています。

1. 温泉: 東川町には多くの温泉施設があります。特に、美瑛川温泉はその名の通り、美しい川沿いに位置しており、自然の中でリラックスするのに最適な場所です。

2. 自然散策と登山: 東川町周辺には多くの自然が広がっており、四季折々の美しい景色を楽しむことができます。また、登山やトレッキングも人気のアクティビティです。トムラウシ山や十勝岳などの山々は、登山家やアウトドア愛好家にとって魅力的な目的地です。

3. 農業体験: 東川町は農業地帯でもあります。農園や農家での農業体験プログラムが提供されている場合があり、訪問者は農作業を体験したり、地元の食材を楽しんだりすることができます。

4. 季節イベント: 四季折々のイベントが開催されます。例えば、冬には雪まつりや氷樹まつりなどのイベントがあり、地域の伝統や文化を体験する機会となります。

5. 地域食材の味わい: 北海道は豊富な食材で知られており、東川町でも地元の食材を活かした料理が楽しめます。

※これらの要素を活かし、地域の観光振興を行うことで、東川町の魅力を訪れる人々に伝えることができます。

東川町には、美しい自然環境の中で食事や休憩を楽しめる飲食店やカフェが多くあります。

1. 手作りの焼き菓子や軽食、コーヒーが楽しめるカフェからは川が見渡せる絶景のロケーションにあり、のんびりとした時間を過ごすことができます。

2. 手作りの料理が自慢の食堂では、地元の食材を使ったメニューが豊富に揃っています。親しみやすい雰囲気の中、地元の味を楽しむことができます。

※これらの飲食店やカフェは、地元の食材や料理を堪能するだけでなく、地域の雰囲気や人々と触れ合う良い機会となります。

新たに出店する場合は、現在あるお店よりもクオリティが高くなければならないとの事で、現在あるお店の全てがクオリティの高いお店となっております。

2日目(午前) 美瑛町議会

景観を利用した観光振興について

美瑛町は、1990年度の観光客数は80万人だったが、2014年度は179万人に達し北海道内でも有数の規模をほこっている。

【美瑛町観光マスタープランの策定】

観光客の増加や旅行行動の変化によるいくつかの問題が生じました。農地景観を目的とした観光客の私有地への立ち入りや、違法な路上駐車、交通渋滞の問題が深刻化。観光は恩恵と同時に多くの課題をもたらした。そこでこれからはどのようにするかを考え、美瑛町観光のこれからを、観光客の「数」から観光の体験の「質」へ、観光客任せのめぐり方から、地域がデザインした巡り方へ、「有名木」を見る観光から「くらし」を体験する観光へ。と大きく方向転換を図る事にした。

美瑛町の観光マスタープランは、町の自然や文化を活かした魅力的な観光施策を総合的に展開し、地域の活性化や観光客の増加を図ることを目指します。以下に、美瑛町の観光マスタープランの一例を示します：

1. 自然景観の活用: 美しい風景を活かした観光施策を展開。青い池や美瑛の丘などの代表的な観光スポットの整備やアクセスの改善、また自然保護や環境配慮を考慮した観光ルートの整備の実施。
2. アートと文化の振興: 美瑛町のアート作品や文化資源を活かした観光施策を推進。
地元アーティストや工芸品の展示やイベントの開催、美瑛の木の教会や美瑛駅前広場などの文化施設の整備を行い、地域のアートと文化の魅力を発信。
3. 地域食材の活用: 地元の食材や料理を活かした飲食施設の充実を図ります。地元産の野菜や果物、乳製品などを使用したレストランやカフェの開設や、地域の特産品を使った食品加工施設の支援を行い、観光客に地元の味を提供。
4. 観光資源の多様化: 自然やアートに加えて、地域の歴史や伝統、地域の人々の生活文化など、多様な観光資源を活用した施策を展開。地元の伝統的な行事や祭りの振興、地域の工芸品や特産品の販売促進など、観光資源の多角的な活用。
5. 地域振興と連携: 地元自治体、観光業者、地元企業、地域住民など、関係者との協力体制を構築し、地域振興に向けた連携を強化。地域の観光資源の開発や施設の整備に関する意見交換や協働プロジェクトを推進し、地域全体の観光産業の発展を目指します。

※美瑛町の観光マスタープランは、地域の特性や課題を考慮しながら、持続可能な観光産業の育成や地域経済の活性化、地域の魅力向上を目指す総合的な計画です。

2日目(午後)自衛隊東千歳駐屯地

組織、教育、日本の防衛について

自衛隊東千歳駐屯地は、北海道千歳市に所在し、航空自衛隊の施設です。

1. 組織: 自衛隊東千歳駐屯地は、航空自衛隊の基地であり、航空機の運用、整備、および訓練を担当しています。

駐屯地内には航空機格納庫、整備施設、訓練施設などが備えられています。航空自衛隊の部隊が配置され、戦闘機や輸送機などの航空機が運用されています。

2. 教育: 東千歳駐屯地では、航空自衛隊員の教育訓練も行われています。新入隊員の基礎訓練や航空機の運用技術の継承、部隊の運用訓練などが実施されています。また、航空機の整備士や航空管制官など、さまざまな専門職種への教育も行われています。

3. 防衛: 東千歳駐屯地は、北海道地域の防空任務を担当しています。戦闘機部隊が常駐し、空中戦闘能力や航空警戒監視任務を行っています。また、災害時や緊急事態においても、自衛隊の災害派遣や救援活動が行われることもあります。

※自衛隊東千歳駐屯地は、北海道地域の防空任務を担う重要な拠点であり、航空自衛隊の戦闘能力を維持し、地域の安全を確保するために活動しています。

山本五十六(やまもと いそろく) 語録

山本五十六は、太平洋戦争中の大日本帝国海軍の提督であり、その指導力や戦略的な思考が注目されました。

彼の多くの言葉や発言が「山本五十六語録」として広く知られています。その中から印象に残った語録を紹介します。

やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ
話し合い 耳を傾け 承認し 任せてやらねば 人は育たず
やっている 姿を感謝で 見守って 信頼せねば 人は実らず

とても考えさせられた言葉です。自分に抜け落ちていた部分を見直す機会を与えていただきました。

自民クラブ 行政視察研修報告書

朝日町議会議員 寺西 泉

1 行政視察の日程及び視察内容 令和5年8月3日(木)～5日(土)

(1) 8月3日 午後 北海道上川郡東川町役場

地域づくり、まちづくりについて

(観光振興、移住定住、介護人材育成)

(2) 8月4日 午前 北海道上川郡美瑛町役場

観光振興について

(3) 8月4日 午後 自衛隊東千歳駐屯地

第7師団資料館戦車博物館の見学

2 所感

(1) 北海道上川郡東川町役場

対応者は、市川直樹副町長、能登暢吉議長、飯塚達央副議長、吉原敬晴経済振興課長、千田浩一郎東川町立東川日本語学校事務局長、北雅仁議会事務局長の6名であった。全国的に人口減少が叫ばれる中、人口が増加し、テレビ放送等で「奇跡の町」として報道され、全国的に注目を浴びている町である。東川町職員や議長、副議長の説明は、人口増をもたらした施策に対する自信に裏打ちされたものであり、どの施策に対しても羨ましく感じた。朝日町が、今後進むべき道筋が垣間見えた気がした。

東川町は北海道のほぼ中央に位置する、人口約8,600人の町である。東部は山岳地帯で大規模な森林地域を形成し、日本最大の自然公園「大雪山国立公園」の区域の一部となっている。大雪山系の最高峰旭岳(2,291m)は、東川地域に所在している。豊富な森林資源と優れた自然の景観が観光資源として高く評価されている。町の特色・特徴的なキーワードとして、写真文化首都「写真の町」、「水が豊かな町」、「大雪山・旭岳の町」、「お米の町」、「木工家具の町」、「適疎な町」の6点を打ち出している。

① 観光振興

旭岳を中心とした温泉街と注目が集るまちなかのお店を主として観光資源としている。北海道最高峰、標高 2,291m を誇る旭岳を有する日本最大の国立公園は、姿見の池や色鮮やかな高山植物などが、多くの登山者の目を楽しませている。日本一早い紅葉と呼ばれる、赤や黄色に染まる秋の絶景は見逃せない。東川町中心部から約 30Km の旭岳温泉は、登山客やスキー客から人気の温泉地であり、秘境・天人峡温泉には、無料で利用可能な「天女の足湯」がある。また、まちなかには、豊かな水資源を活用した飲食店やカフェが約 70 店舗あり、食事のクオリティが高いお店として、観光客に人気である。さらに、地域おこし協力隊の一人が発案した地域内での経済循環を目指した IC ポイントカード(ひがしかわユニバーサルカード)が好評を博している。現在はアプリもスタートし、町内外含めて約 10 万人が利用している。

朝日町においても IC ポイントカードを導入することを考える時期に来ているのではないかと考える。

② 移住定住

奇跡の町と言われる東川町では、年度により多少の減があるものの、最も人口が少なかった 1993 年の 6,973 人から徐々に人口が増え、2022 年には 8,601 人となっている。今では、移住者が人口の半数を超える状況である。平成 14 年に「美しい東川の風景を守り育てる条例」を制定し、行政、住民、事業者等が連携した美しい風景づくりを推進していることが特徴的である。移住施策としては、移住相談ツアーの定期開催や都内での移住イベントの開催等、どこの市町村も行っている施策と同様である。敢えて言えば、移住情報を発信する HP が充実していることである。移住に対する補助に関しては、朝日町に比べて、充実しているとは言えない。懇談の中で、「移住施策はお金ではなく、人である」と言われたことが

印象的であった。5月に訪問した長崎県五島市でも、同様の話があった。結局は、人が人を呼び込むのであり、今後の朝日町の移住施策について、再考する必要性を感じた。

③ 介護人材育成

少子高齢化・人口減少が急速に進む日本においては、今後、全産業において労働人口不足が見込まれる。そのような中で、特に介護人材の不足が顕著であり、今後、外国人の介護福祉養成が急務となっている。東川町には、町立東川日本語学校と学校法人北工学園旭川福祉専門学校があり、両校が連携し、外国人の介護職員を養成している。更に、近隣の自治体、社会福祉施設、旭川福祉専門学校からなる外国人介護福祉人材育成支援協議会を立ち上げ、広域連携で留学生支援及び卒業後の就労も支援している。この施策は長い時間をかけて、地道に行ってきた施策の成果である。富山県においても参考にすべきことが多々あると考える。

(2) 北海道上川郡美瑛町

対応者は今野聖貴議会事務局長、成瀬弘記商工観光交流課課長補佐兼観光振興係長の2名であった。美瑛町は人口約9,600名の町である。十勝岳を始めとした2,000m級の山々が連なる大雪山国立公園内に位置し、令和4年1月にはジオパーク認定を受けている。火山活動によって形成された雄大で美しい景観や地質、動植物、温泉資源に恵まれている。ヨーロッパの農村にも似た丘陵地帯が広がり、四季折々の美しい自然環境を求めて国内外の多くの観光客や写真家を惹きつけている。年間の観光入込数は平成31年度には240万人を超えた。その後は、コロナ禍で100万人台まで落ち込んだが、今年度は、240万人まで戻りそうな勢いである。観光の課題としては、美瑛町は富良野・旭川の間位置し、旭川空港に隣接するため、通過型観光となり宿泊客数が伸びていないことである。また、農業・自然景観が観光資源となっ

ているが、農地への無断侵入やごみの不法投棄等による農業面への負荷が大きい。今後は中国からの観光入込が回復することが見込まれており、オーバーツーリズムによる影響も懸念されているとのことであった。町として、特段の観光施策は行っておらず、正直なところ、これ以上観光客が増えないでほしいという本音も聞かれた。朝日町としては、羨ましい限りである。今後の観光振興の方針として観光マナー向上と景観保全対策を謳っており、舟川春の四重奏において参考にすべきことが多々あった。

(3) 自衛隊東千歳駐屯地

対応者は花田さんであった。東千歳駐屯地は北海道千歳市祝梅 1016 に所在し、第 7 師団司令部等が駐屯する陸上自衛隊の駐屯地である。

第 7 師団資料館戦車博物館には、歴史年表をはじめ、各国戦車の模型が多く展示しており、60 インチ画面による映像視聴は一見の価値あるものであった。また、細部までこだわって作成された戦場場面のジオラマは、臨場感溢れる構成となっていた。さらに、日露戦争をはじめ旧日本軍の資料があり、感動の連続であった。

今回の視察を通して、日本の国防の重要性を改めて認識できた。

令和5年度 自民クラブ行政視察研修報告書

朝日町議会 自民クラブ 由井 崇

1. 行政視察日程 令和5年8月3日(木)～5日(土)
2. 視察場所 第1日 8月3日(午後) 東川町役場3階 第3会議室
第2日 8月4日(午前) 美瑛町役場4階 委員会室
(午後) 陸上自衛隊東千歳駐屯地
第7師団史料館
第3日 8月5日(※移動のみ)

3. 視察内容

第1日 北海道上川郡東川町

今回の視察では、東川町における「地域づくりまちづくりについて」のお話を伺うべく、研修を行ったものである。

対応者 市川直樹 副町長 能登暢吉 議長 飯塚達央 副議長
吉原敬晴 経済振興課長 北雅仁 議会事務局長
千田浩一郎 東川町立東川日本語学校事務局長

○東川町の概要

東川町は北海道のほぼ中央に位置する町で、人口は約8,600人。旭川市に隣接し、旭川空港から車で約10分、JR旭川駅からも車で約30分と都市部からのアクセスも非常に良い。

町の東部は日本最大の自然公園である大雪山国立公園の区域であり、町の紹介の資料によれば、その特色として、水が豊かで上水道がなく、天然水を生活水としている。

町の基幹産業は農業であり、水田作付面積は約2,300haで農家戸数(米作)は12.5戸、その平均作付面積は約1.8haである。大雪山系の地下水により北海道のブランド米である「ゆめぴりか」を「東川米」として栽培し、日本穀物検定協会の食味ランキングでは2011年以来連続して最高ランクの「特A」を獲得している。また、2020年11月には全国でも珍しい公設民営型酒造を設立し、町内の酒米を用いて醸造するといった、米を中心としたまちづくりを行っている。

また、長らく「写真の町」として写真でのまちづくりを行い、東川町国際写真フェスティバル、写真甲子園といったイベントを開催して交流人口も多い。旭川家具の産地としても有名であり、建築家隈研吾氏の設計事務所との連携も図ってさらなる木工産業の発展を目指している。

平成5年からの30年間で人口が7,063人から8,589人と約2割増加しており、その中でも30年間の転入者数が転出者数を2,300人を超え、移住者が町の人口の50%を超えるといった点は注目すべきところ

である。人口の増加により、令和2年度の町税においても個人町民税の割合が34.5%と朝日町よりも約10ポイント高い。

○研修内容

①移住定住

東川町では定期的に移住相談ツアーを開催しており、その参加者の5割以上が実際に移住した年度もあった。東京都内や札幌市を中心に町のことを知ってもらうための移住イベントを開催し、幅広い客層に対し町のアピールをしている。ここには町の移住担当以外の部署の職員も出席させ、参加者からの様々な質問等にも即座に対応しているとのことである。また、移住者を含む町内の起業家やフリーランスの人を繋ぐ「起業家交流会」を実施し、町内での新しい人脈づくりや仕事生まれる仕組みづくりに力を入れている。

②観光振興

東川町には旭岳を中心とした温泉街があるが、観光分野で注目したのは、町の中心部の、いわゆるまちなかのお店の充実度である。

食事のクオリティの高い店が集まっており、先述の移住相談においても飲食店をやりたいという話はよく出るとのことだが、人口8,000人規模のまちでも生き残るには、ある程度のレベルでないと難しいと移住希望者にはきっぱりと伝え、切磋琢磨させているようである。また、町内の飲食店を繋ぐための動画プロジェクト「東川FOCUS on gourmet」を実施して飲食店の積極的な支援を行っている。

さらに、地域内での経済の循環を目指して地域おこし協力隊が発案し、2017年11月にスタートした、IC式ポイントカード「HUC (Higasikawa Universal Card)」を町内の100以上の店舗で利用できるほか、イベント参加でポイントが付与されるなどの取り組みを実施している。現在はアプリもスタートさせ、町内の80%が利用、町内外含めて約10万人もの利用者がいる。

③介護人材育成

東川町には日本語学科も設置された福祉専門学校があり、日本人のみならず外国人も介護福祉士として養成している。こちらでは在学中、受け入れる自治体が費用負担して就職先の対象となる介護関連施設とのマッチングも行っている。給付型奨学金制度も実施しており、卒業者の全員が介護関連施設に就職している。また、日本語を学ぶ留学生のうち、日本語能力の高い者が介護の仕事に就くことができるとのことで、その対象者には留学生支援のための特別交付税を利用して授業料を無償化している。

さらに、町と福祉専門学校、近隣の市町村（東川町を含む26自治体）が連携して国の留学生支援事業等を活用した外国人介護福祉人材育成支援協議会を設立されており、地域の介護人材確保に努めている。

【研修を終えて】

東川町全体で、その強みである資源、文化、産業、人材が生み出す「東川らしさ」を生かして町の事業を推進して住民の幸福度アップに繋げている。

研修内容の施策については、町の職員、議員の皆さんがその施策、その結果に非常に自信をもっているところが見て取れた。

町の立地条件、伝統等、そもそもの条件が朝日町とは比較にならない点はあるにせよ、東川町が行った施策の結果をうらやむだけでなく、観光資源、産業といった朝日町の強みを生かして人口減少対策を行っていかねばならない。例えば、朝日町の定住サポート事業は住宅を取得した方へ補助金を交付するが、それ以前に、移住したくなるまちとしての朝日町をどう構築していくかが重要であるのではないか。

第2日 1. 北海道上川郡美瑛町

今回の視察では、美瑛町における観光施策についてお話を伺うべく、研修を行ったものである。

応対者 成瀬弘記 商工観光交流課課長補佐兼観光振興係長
今野聖貴 議会事務局長

○美瑛町の概要

美瑛町も北海道のほぼ中央部、旭川市と富良野市のほぼ中間に位置し、人口は約9,600人。札幌から車あるいはJR利用で約2時間30分、旭川から車で約40分と交通アクセスの利便性は比較的高い。

町内の白金地域は十勝岳の麓、大雪山国立公園の一部となっているほか、市街地から約8kmのところにある丘陵地域は農業によって作り出される広大な自然景観があり、多くの観光客や写真愛好家が訪れている。

町の主要産業は農業であり、約12,600haの農地で水稲、アスパラガス、トマト、小麦、豆類、じゃがいも等、多くの農産物が生産されている。それらの素材を生かした農産加工品やお菓子などを特産品とし、農業を軸とした産業構造となっている。

○農業景観と観光資源

町では、基幹産業である農業を守り育てるため、様々な農業振興策が図られてきた。特に「土づくり」に重点を置いており、土壌診断分析、緑肥作物の作付、耕畜連携による堆肥運搬にかかる経費の助成を継続してきた。また、農作業の省力化を図るうえでコントラクター協議会（大規模農機により農産物の収穫や耕起等の農作業の請負等を行う組織）の運営に対する支援やスマート農業を推進しており、これらの取り組みで適正な輪作体系が維持されてきたことにより、結果的に美しい景観が維持されている。つまり、その年によって作付けされる作物が異なり、毎年景観も変化していくことになる。

○町の課題

町の耕作面積のうち約4割は傾斜地等であり、「丘のまち びえい」と呼ばれる農業景観となっているが、平坦な農地に比べると作業には危険が伴い、熟練した技術が必要となる。農業者の高齢化、後継者不足による農業経営体の減少から1経営体当たりの経営面積の増加により負担も大きくなっており、農作業の省力化や担い手の確保が課題となっている。

観光面では、町は富良野と旭川の間位置し、旭川空港からも近いということで通過型観光となり宿泊客数が伸びていない。日帰り客が多く、町に落ちるお金は、食事とお土産で概ね一人当たり3,000円程度である。宿泊があっても1泊のみで近隣都市に移動する傾向にある。また、農業・自然景観が観光資源となっているが、農地への無断侵入やごみの不法投棄による農業面の負荷が大きい。

○観光振興の方針として

包括連携協定を締結している北海道大学観光学高等研究センターの協力の下、「丘のまち びえい」の持続的発展を目指して「美瑛町観光マスタープラン」を平成30年に策定した。

さらに、町の豊かな地域資源をより良い形で次世代へ継承するために行政、町民、観光事業者及び観光客等が相互に協力し、持続可能な観光目的地づくりに向けた取り組みを推進する必要があることから、「美瑛町持続可能な観光目的地実現条例」を取りまとめ、令和5年4月1日から施行されている。

【研修を終えて】

美瑛町は基幹産業である農業の景観そのものが観光資源のひとつとなっており、その規模は朝日町とは比べ物にならないが、美しい景観を観光資源とする美瑛町の取り組みは、傾聴に値する。観光マスタープランは町民にも配布しているとのことであり、町全体で町の観光の現状と課題を共有し、住民のくらしと観光の融合により、魅力あるまちづくりを進めていく方策は、大いに参考にしたい。

朝日町の「あさひ舟川『春の四重奏』」も通過型の観光であると言わざるを得ず、農地への侵入といった農業面への負荷があることも美瑛町の現状と同様である。美瑛町でも観光客にいかにか町へお金を落としてもらうかについては悩んでおられた。また、美瑛町では農地を守るため、パンフレットに農業と景観を守るための注意書きを大きく記載して配布している。農地へ入る際の靴底の消毒、足カバーの装着といった活動の紹介もあったが、これらの体験をした方は、リピーターとして来られた時の心構えが違うとのこと、こういった細かい取り組みも参考にすべきかと考える。

2. 陸上自衛隊東千歳駐屯地

2日目の午後は千歳市の陸上自衛隊東千歳駐屯地を訪問した。先の美瑛町の視察は予定通りだったが、東千歳駐屯地に向かう道中、高速道路で事故があり一般道を迂回したため、訪問予定時刻ギリギリに到着することとなった。

東千歳駐屯地では、陸上自衛隊北部方面隊第7師団の資料館である戦車博物館の見学を行った。花田館長のご案内の下、第7師団所属の戦車の動画及び第7師団の歴史資料を拝見した後、日本における戦車の歴史、過去の戦争における戦闘の作戦のジオラマ、旧日本軍の貴重な資料を拝見した。

【視察を終えて】

今回は時間の関係で戦車博物館のみの視察であったが、国家の安全のため、国防の一端を担って日々訓練を重ねておられる自衛隊の活動にあらためて敬意を表する思いが高まったことは間違いない。

過去の国内での大規模災害時の行方不明者の捜索、避難者支援等といった自衛隊の活動に対しても同様である。

本視察から約3週間後の朝日町における令和5年度の防災訓練では、自衛隊による土砂災害行方不明者捜索の訓練風景を見学した。今回の行政視察と防災訓練での自衛隊の活動を通じ、災害時、特に発生直後の自助、共助についての体制を各町内でどのように取るのか、地域防災計画、避難計画を確認し、見直すべきところは町当局とも協議して町民の安全安心へ取り組んでいかなければならないと考えさせられた。

※ なお、今回の視察の日程は、北海道内でのインターハイの日程と重なり、札幌市内では予定した値段の宿泊場所の予約が取れず、第2日の宿泊が千歳市から遠く離れた小樽市であったため、上記以外の視察の予定が組めず、第3日はほぼ移動のみとなった。

自民クラブ視察研修報告書

朝日町議会議員 善田 奈緒

1. 視察研修日程及び視察研修先

令和5年8月3日(木)～5日(土)

北海道上川郡東川町・北海道上川郡美瑛町・自衛隊東千歳駐屯地

2. 視察研修内容

①北海道上川郡東川町にて

□歴史文化施策について

- ・ 写真文化都市東川町へようこそ！写真甲子園30回目を迎える、この文化を大切に栄えていきたい。(能登議長)
- ・ 産業振興課長が町長となった。松岡元町長は旭川福祉専門学校に勤めており、日本全国の保育看護人材をここ東川町の学園で育てたいと活動している。全国各地から学生を呼び寄せている。(市川副町長)
- ・ 写真をきっかけに大阪から移住してきた。(飯塚副議長)
- ・ 写真文化都市は町の総意として進めてきており、町民にも浸透してきている。(吉原経済振興課長)
- ・ 写真文化都市だけでなく、東川町は家具の町でもある。町全体をショールームとして、公共施設等にも積極的に木工家具を配置している。

□移住定住・起業施策について

- ・ 魅力ある小学校を、と力を入れている。こんなところで子育てしたいと移住に前向きになってくれる方が非常に多い。
- ・ 移住ツアーのコーディネイトは役場職員が企画運営している。夜は町民とのバーベキューを開催し、横の繋がりをつくることを大切にしている。移住相談ツアー参加者の5割程が移住している。
- ・ 人口約 8,600 人のうち、移住者が5割にのぼる。
- ・ 起業が増加している。地域おこし協力隊発案の事業も多数ある。
- ・ 移住定住担当職員以外も東京等で開催される移住フェアに参加させ、若手職員の育成に努めている。町のことを説明する機会をもつことで、町のことを勉強する。
- ・ 地域おこし協力隊は 60 名、業務内容を明確にして募集をしている。最長3年町にすることができる。それ以降も残りたいのなら自力で道を探してもらうというスタンスで受け入れている。
- ・ 女性、一度は町から出る。町で働いている人がかっこいいかどうかに戻ってくる秘訣。農業、商工業は跡継ぎが戻ってきている。
- ・ 二拠点生活者も多い。大企業はなく、自営が多い。IT、デザインなどネット環境さえあれば移住できる。生活スタイルが変わってきている。
- ・ 首都圏では子ども1人育てるのが限界だったが、東川町に来ると兄弟を考えることができる。
- ・ 起業へ向けた助成制度あり。要件をゆるく設定し、誰でもチャレンジできるようにしている。
- ・ 挑戦する人には手を差し伸べてくれる、そういった気運を高めることで、どんどん人が集まってきて、起業する人が非常に増えている。

□小規模小学校について

- ・ 幼児センターは町に一ヶ所、小学校で分かれ中学校でまた集まる。学童保育は一ヶ所で各小学校からタクシーに乗って集まってきている。
- ・ 小規模小学校に入りたいという移住者もいるため、選択肢を残している。
- ・ 学校単位で自治組織があり、運動会、学芸会に地域住民が参画する。
- ・ 子どもが少ないからといって統合というのは町として言わない。
- ・ コミュニティーを大事にする。学校統合によるコミュニティー消滅の方が怖い。
- ・ 住む場所がなければ子どもは増えない。学校区単位で考え、小学校近くに宅地造成し、子育て世代に入ってもらい、小規模小学校も維持できるよう、町として支援している。

□東川町立東川日本語学校について

- ・ 全国初の公立日本語学校として2015年に開校。
- ・ 運営側に地域おこし協力隊員を5名派遣している。
- ・ 東川町で日本の文化、日本人の考え方を教え、育てていくために開校。
- ・ 卒業後、企業等へ派遣をするのだが、どうしても合わなくて辞めた方も数名いるが、ほぼ勤め続けている。
- ・ 日本語学校の教員になるには教員資格が必要。地域おこし協力隊として全国へ呼びかけ、人材確保している。

□所感

- ・ 北海道は本州と比較すると、歴史文化がない土地である。だからこそ、これをこの土地の歴史文化とする、と決めたからには、継続させていく必要がある。0から始めた写真文化都市も30年続けてきたことで、他に劣らぬ誇れる文化になっていると自負している。これからも歴史と文化を作り続けるのだ。との副町長の言葉が印象的だった。この、ゆるぎない町の指針に人が惹きつけられているのだと痛感した。
- ・ 多様な分野での人材育成施策についても、一自治体でここまでできるのかと衝撃を受けたが、実現している事実があるのだから、朝日町でもできることを実践していかなばと勇気をもらうことができた。
- ・ 起業を目指す方に、手を差し伸べる気運が町にあるのかなのか、非常に重要な視点で、朝日町においても、チャレンジ支援金など勉強していきたい。

②北海道上川郡美瑛町にて

□観光振興について

- ・ 持続可能な観光推進モデル事業に選定されている。(成瀬商工観光振興課長)
- ・ マナー啓発を通じたオーバーツーリズムによる課題の解決に努めている。
- ・ 町民の観光への参画を呼びかけている。
- ・ 主要産業は農業、火山噴火によりできた丘陵地帯であり、独特な風景を生み出している。
- ・ 丘陵地帯という地理的風景にプラスし、農作物の輪作により、パッチワーク模様の農業景観、これが合わさり、観光の町になった。
- ・ 元々観光の町ではなかったため、オーバーツーリズムの問題が深刻。
- ・ 人口一万人弱の町に240万人の観光客が夏に集中している。
- ・ 旭川と富良野の中間地点であり、通過型観光になっている。駐車場を有料化しお金を落とす仕組みとした。
- ・ 中国では「個人の土地」という認識がない。これは文化の違いであり、分かるように伝える工夫が必要。
- ・ 美瑛観光ルールマナー110番という情報提供を受け付ける窓口を設置している。
- ・ カメラ、AIを活用し、混雑状況の可視化システムを構築中
- ・ 町民意識調査では、観光客が増えて町の誇りが高まったという傾向あり。
- ・ 観光客目線での町民ツアーも開催し、理解を深めてもらっている。

□所感

- ・ 人間と自然が共作した風景という観光資源はまさに朝日町の四重奏と重なる。観光客へのマナー啓発やお金と落とす仕組み、一時に集中する観光客を通年型にするなど、参考になる取組みが非常に多い。
- ・ 朝日町の春の四重奏は、四重奏がなかなか揃わず残念という声も耳にするが、自然と共作した景観だからこそ、二度と同じ景色には出会えないという部分にフォーカスし、リピーター確保に向け試行錯誤していきたい。

③自衛隊東千歳駐屯地

- ・ 第7師団司令部等が駐屯する陸上自衛隊の駐屯地
- ・ 陸上自衛隊において唯一、戦車部隊を中心に編成された機甲師団
- ・ 施設内に第7師団史料館があり、現在の北方領土問題に繋がる占守島の戦いをはじめとした歴史的経緯から現在の取組みに至るまで、事細かに記録されていた。
- ・ 近年は女性の活躍も目覚ましく、戦車部隊の指揮官においても非常に優秀な成績を納めている
- ・ 今回は史料館のみでの研修だったが、自衛隊の方々が日々どのように生活し、どのような訓練を実施し、どのような体制で有事に備えているのか、もう少し踏み込んだ部分を勉強していきたい。

1. 行政視察年月日 2023年 8月 3日～ 5日

(1) 視察研修場所 第1日目 8月 3日 北海道東川町役場3階にて 15:00より17:00

出席者 副町長 市川直樹 議会議長 能登暢吉 副議長 飯塚 達央

議会事務局長 北 雅仁 経済振興課 課長 吉原敬晴

町立東川日本語学校 事務局長 千田 浩一朗

地域づくりまちづくりについて

※要望事項

朝日町ではヒスイ海岸や春の四重奏などの観光地を持ちながら、観光客数増加や町の商業発展につなげられない現実がある。東川町は人口が増え続けるまちであり、どのような施策を行い今に至っているのか。また、移住定住や介護人材育成にも力を入れており、順調に結果を出している東川町の取り組みを今後の町政に活かしていきたい。

①観光振興

経済振興課 課長 吉原敬晴

東川町は1985年に「写真の町」と宣言して以来、自然と文化と人が交わる「写真映りの良い」まちづくりを推進してきました。中心に据えた「写真の町」を通じて、人と文化、自然を大切にしながら、さまざまな取り組みを行っています。自然や文化、そして人との交流を重視し、1989年にオープンした東川町文化ギャラリーは、写真文化の発信拠点として、国際写真フェスティバルや写真甲子園（全国高等学校写真選手権大会）、高校生国際交流写真フェスティバルなどの芸術や文化関連の企画展を開催し、地域文化活動の発表の場としています。

産業としては、大雪山旭岳の豊富な地下水を利用して米作りを行っています。北海道のブランド米である「ゆめぴりかコンテスト」で金賞を受賞しました。地元農家とJAひがしかわが策定した生産基準である「東川米信頼の証10か条」や「水とくらす5か条」などの厳格な基準を順守し、安全性と品質向上に取り組んでいます。

また、建築家の「隈健吾」氏と連携し、日本三大家具の一つである旭川家具を生み出し、「家具・クラフトの町」として発展しています。町内には木工を志す若者から数十年のベテランまで、幅広い世代の職人たちが集まり、技術を磨いています。町は生まれてくる子供たちに向けて「君の椅子」プロジェクトを実施し、木製の椅子を贈るとともに、中学校では3年間使用した個人の木製椅子を卒業記念として持ち帰る取り組みも行っており、東川メイドの「旭川家具」を身近な存在として普及させています。さらに、隈健吾氏との連携は国際的なKAGUデザインコンペなどにも展開し、旭川家具産業のさらなる成長に取り組んでいます。

観光面では、旭岳を中心とした温泉街や、質の高い店舗、町中の商店で利用できるIC式ポイントカード（HUC）などを提供しています。わずか人口8,000人の町に70店舗もの店があり、動画プロジェクト「東川 FOCUS on gourmet」を通じて、町内飲食店の支援に積極的に取り組んでいます。さらに、HUCは町内の80%が利用し、町内外を含めて10万人以上の利用者がいます。

②移住定住

町の施設を貸し出し、移住検討者がお試し移住を体験できる「移住体験ツアー」を定期的に開催、渋谷 PARCO や都内の美容室や札幌の書店など、幅広い客層に対して町を知ってもらうためのさまざまなイベントを開催しています。また、先輩移住者とのバーベキュー交流会や、起業家やフリ

ーランスの人々をつなぐ起業家交流会など、人脈作りや仕事の仕組み作りにも力を入れています。SNS では町公式アプリを通じて町の情報を発信し、ウェブサイトでは空き家情報や住民のインタビュー記事を掲載しています。また、小学校の 360 度パノラマビューを通じて紹介しています。

新しい住居に関しては、「美しい東川の風景を守り育てる条例」を制定し、「東川風住宅設計指針」に基づいて、庭の植樹や屋根の形状、オイルタンクの隠し方など、美しい街並みを実現するための指導を行っています。また、コミュニティの重要性を考え、積極的な行事への参加を奨励しています。

教育に関しては、広大な土地を有効活用した平屋建ての廊下が 270 メートルに及ぶ小学校があり、外には人工芝のサッカー場や天然芝の野球場、多目的芝生公園などもあり、約 380 名の生徒が学んでいます。また、30 名程度の生徒が在籍する複式学級の学校が 3 つあり、宅地造成も学校を中心としたコミュニティを重視し、移住者に多様な選択肢を提供する施策を展開しています。

③介護人材育成

日本国内における労働人材不足の見込みから、外国人の介護福祉士育成に環境を整備しています。2015 年に東川町日本語学校を設立し、町内の民間福祉専門学校も日本語学科を開設し、町と専門学校、近隣の市町村が連携して外国人介護福祉人材の育成を進めています。

台湾、タイ、中国、韓国、ベトナム、インドネシアに留学生募集窓口の海外事務所を設置し、学校周辺には 100 名から 200 名程度の学生寮を 3 棟完備しています。また、授業料や寮費、生活費を 5 年間の就業を条件とした給付型奨学金制度を実施、生活や就職に関する相談支援も提供されています。

これらの取り組みは、「外国人介護福祉人材育成事業支援事業」として 2018 年に協議会を設立し、道北地域のモデル事業として開始されました。学生を希望する市町村や社会福祉施設が年会費 30 万円と学生 1 人につき 250 万円の負担を行い、特別交付金をベースとした給付型奨学金を活用しています。近年では 55 施設が参加し、各施設での学生の定着率も高い水準です。

(2) 視察研修場所 第 2 日目 8 月 4 日 北海道美瑛町役場にて 9:30 より 11:00

出席者 商工観光交流課 課長補佐 成瀬弘記 事務局長 今野聖貴

※要望事項

年間約 170 万人もの観光客を魅了する町としての成功を収めている美瑛町について、どのようにして観光と地域住民の暮らしを調和させ、地域コミュニティと観光業界の緊密な連携を築いているのかおられるのか。

朝日町でも、美瑛町のような成功体験を参考にして、地域コミュニティと観光業界が連携し、持続可能な発展を遂げる方法を模索していきたいと考えています。地域住民と観光関係者の協力によって、地域の魅力を高め、観光資源を活かした取り組みが行われているのか。

さらに、美瑛町が効果的なインフラ整備や環境保全活動を通じて、持続可能な観光を実現している姿勢は、私たちの課題解決にも大いに参考にしたい。地域の特産品や文化を活かし、地域住民と観光業会が協力する体制を構築など美瑛町の成功体験を通じて、朝日町も持続的な発展に向けてのヒントを得たいと思っております。取り組みを参考にし、地域コミュニティと観光業界の連携を強化し、魅力ある朝日町の実現に向けて参考にしたいとおもいます。

①美瑛町の観光について

商工観光交流課 課長補佐 成瀬弘記

人口 9,600 人の旭川市と富良野市の中間に位置する町であり寒暖差が大きい内陸気候のため、四季の彩が感じることが出来る町である。白金地区は十勝岳の麓に位置し雄大な自然に囲まれた大雪山国立公園の一部となっている。また丘陵地区は農業によって創り出される広大な自然景観があり、多くの観光客や写真愛好家を惹きつけている。景観や地域資源を保護し、地域経済の発展に向けた取り組みとして、平成 17 年に設立した「日本で最も美しい村」連合の理念に基づいた保全を行っている。丘陵地区で行われている主な産業は水稻、アスパラガス、トマト、小麦豆類、ジャガイモ、ビートなどである。ヨーロッパの農村にも似た広大な土地は四季折々の美しい自然景観を求めて、国内外の多くの観光客や写真家を引き付けています。「ケンとメリーの木」や「セブンスターの木」など観光客が集中しているところでは農地への立ち入りや路上駐車などの問題があります。また、「青い池」も高い訪問率となっていますが、そのほとんどが青い池のみを訪れる観光客であり、農地観光のマナー改善や町内の回遊促進が美瑛町観光の課題である。

また、富良野・旭川の中間に位置するため通過型観光となり宿泊客数が伸びていない。

農業に関しては「丘のまち美瑛」と呼ばれ農業景観が生み出されているが高齢化、後継者不足による農業経営体数の減少から 1 経営体当たりの経営面積が増加しており負担が大きく、農作業の省力化や担い手の確保が課題となっている。

観光マスタープラン（4つの基本方針、9つの戦略、22の具体事業）の策定により持続的発展を目指し、地域ブランドを確立させ、農林業・商工業・観光業の融合によって町の活性化を図ることとしている。観光客による私有地への無断立ち入りやゴミの不法投棄、路上駐車や事故の増加といった課題に対し観光協会では定期的に観光パトロールを行って注意喚起を促している。

町、町民、観光事業者及び観光客などが相互に協力し、持続可能な観光目的地づくりに向けた取り組みを推進する必要があることから、北海道大学・町内観光業・農林業・商工業関係団体などで構成する委員会において「美瑛町持続可能な観光目的地実現条例」を令和 5 年 4 月より施行されている。

(3) 視察研修場所 第 2 日 8 月 4 日 東千歳駐屯地 15:00~17:00

施設内容

東千歳駐屯地は、北海道の広大な敷地に日本陸上自衛隊第 7 師団の本部を擁し、戦車、歩兵、火砲など多彩な部隊が展開する重要拠点です。訓練施設は整備され、最新の設備が備えられており、防衛力の向上に寄与しています。また、災害時の国内支援能力も充実しており、地域社会との連携も強化されています。基地内には研修施設や居住施設も完備され、自衛隊員の働きやすい環境が整えられています。自然と調和した環境で、防衛と支援の使命を果たすための施設が整っています。

※感想

第 7 師団資料館・戦車博物館の見学と説明を受けてきました。戦車の歴史年表をはじめ、各国戦車の模型、細部にまでこだわって作成した戦場場面のジオラマ、また大画面では迫力ある師団記念行事や戦車射撃競技会の映像を見せていただきました。旧軍コーナーでは日露戦争時代をはじめ旧日本軍の資料があり、中には貴重な書物も展示されていました。史料館の最終部分には 7 師団の編成や装備の紹介、年表を利用した過去の出来事などを一覧できるようになっており、占守島上陸での樋口陸軍中将の言葉、池田陸軍少将の言葉などの心のこもった説明を受けてきました。第 7 師団は陸上自衛隊で唯一の機甲師団であり、3 個戦車連隊を中核とし、約 200 両（自衛隊保

有数の約 1/3) の戦車が集中配備されており、戦車連隊を複数有する師団は、第 7 師団のみであり、戦車の大量装備のみならず、特科の装備する火砲の完全自走化もされている。機動運用部隊として必要に応じ他地域への展開も行うことも想定されています。

第 7 師団は戦争だけではなく、災害派遣などの国内での支援活動にも従事されており、平成 7 年阪神・淡路大震災災害派遣、平成 15 年十勝沖地震、平成 16 年イラク復興支援群派遣、翌年 17 年にはインドネシア・スマトラ島沖へ国際緊急医療・航空援助隊派遣、平成 23 年の東日本大震災に派遣され復興に貢献されたことは記憶に新しい。